



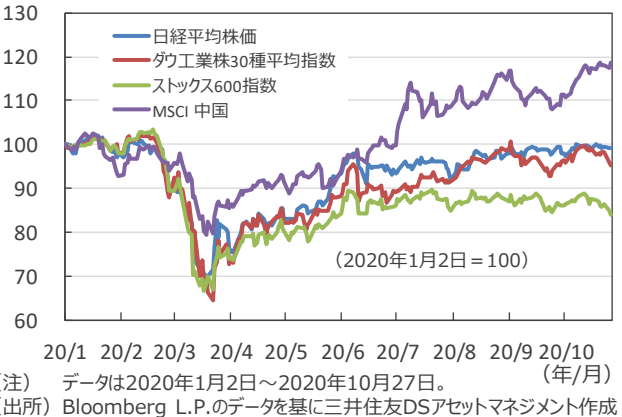
**今日のトピック** 中国株式は好調な経済活動を背景に、堅調推移  
企業収益の改善から、更に上値を目指す展開

**ポイント1**

**中国株式は堅調推移**  
MSCI中国はコロナ前を大幅に上回る

- 世界の株式市場では、新型コロナの感染拡大を受けて2月後半以降大幅に株価が下落しました。その後、各国・地域が積極的な金融・財政政策を打ち出したことなどから各市場は落ち着きを取り戻し、株価は新型コロナ前の水準に回復しつつあります。
- 特に、中国は厳格なロックダウン（都市封鎖）の実施によって、いち早く新型コロナ感染拡大を収束に向かわせたこともあり、株価が堅調で、MSCI中国は新型コロナ前の水準を大きく超えて推移しています。

【主要株価指数の推移】

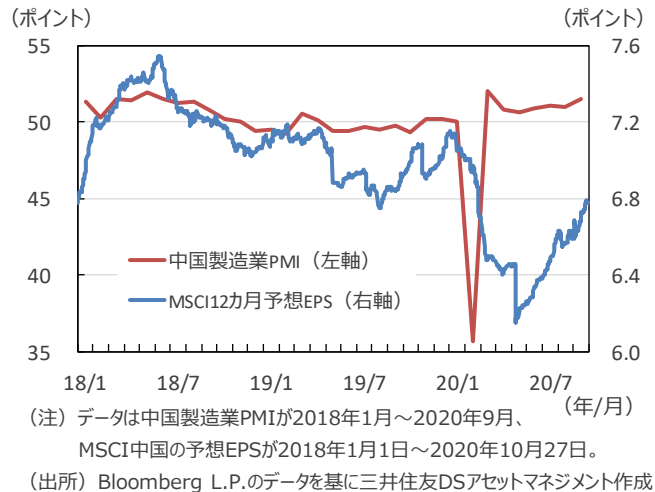


**ポイント2**

**好調な経済活動が背景**  
EPSも力強い改善を見せる

- 2月に大幅に落ち込んだ製造業PMI（購買担当者指数）は急速に改善し、足元では51.5と、好不調の分かれ目の50ポイントを上回っています。出遅れていた消費も回復に向かっており、9月の小売売上高は前年同月比+3.3%です。また、今月13日に発表された国際通貨基金（IMF）の世界経済見通しは、主要国では中国のみ2020年の成長率がプラスとされました。
- このような経済活動の回復を背景に、企業業績も改善傾向が見られます。MSCI中国の予想一株あたり利益（EPS）は6月1日を底に大幅に改善し、足元では2月高値からの減少幅の6割を戻しています。

【中国製造業PMIとMSCI中国の予想EPS】



**今後の展開**

**中国株式は世界経済の改善を待って、更に上値を目指す展開を想定**

- 中国経済は生産活動に加え、遅れていた消費・投資活動も回復に向かったことから、概ね新型コロナ前の状況を取り戻しつつあり、持ち直してきた企業業績も一層の改善が見込まれます。足元では、欧米を中心とした新型コロナの感染再拡大や米中摩擦の先鋭化が懸念されますが、今後は、堅調な国内需要に加え、世界経済の回復に伴う外需の持ち直しが予想されることから、中国株式は更なる上値を目指す展開を想定します。

**ここも  
チェック!**

2020年10月20日 中国のGDP成長率は+4.9%、2期連続プラス  
2020年10月14日 IMFの世界経済見通しは経済再開を受け上方修正

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。